

政策番号	17	政策分野	保健衛生・医療
------	----	------	---------

基本方針	すべての市民が健やかにくらするように、市民ひとりひとりが主体的に心身の健康づくりに取り組めるような環境を整えるとともに、健康意識の向上を図る。また、市民の健康を守り支えるため、適切な保健医療サービスが受けられる体制を構築するとともに、健康づくり活動の育成を促す生活環境の整備を行う。さらに感染症等の市民の健康を脅かす危機が生じた際に迅速・的確に対応できる体制を確立する。
------	---

担当局	保健福祉局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	京都市民健康づくりプラン（第2次）、京都市たばこ対策行動指針（第2次）、京都市口腔保健推進行動計画、健康長寿のまち・京都食育推進プラン、きょういのちほっとプランー京都市自殺総合対策推進計画一、地方独立行政法人京都市立病院機構年度計画、京都市病院事業改革プラン、第2期京都市食の安全安心推進計画
---------------------	--

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		23年度 評価値	32年度 目標値	26 年度	27 年度	28年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	男性の健康寿命(歳)	78.5	80.3	a	a	79	79.3	79.2	100.1%	a
2	女性の健康寿命(歳)	82.9	86.7	d	b	82.8	83	84.4	98.3%	b
				b	a					a

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	26年度	27年度	28年度
1701	市民の健康づくり活動の推進(2指標)	a	a	a
1702	保健医療サービスの充実(1指標)	a	a	a
1703	食や生活環境の安全・安心の確保(2指標)	b	e	c
1704	健康危機に対する安全・安心の確保(2指標)	d	c	c
(4施策平均)		b	b	b

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価:施策の客観指標評価=1:0.5)	26年度	27年度	28年度
	b	a	a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		26年度	27年度	28年度
1	正しい情報を基に、健康づくりに取り組むひとが増えている。	b	b	b
2	利用しやすく頼れる医療や検診の機関がある。	b	b	b
3	安心して食べられる食品が手に入るなど、衛生的な生活環境が整っている。	b	b	b
4	公共の場では禁煙が進んでいる。	a	a	a
5	感染症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。	b	b	b
政策の市民生活実感調査総合評価		a	a	a

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

26年度		27年度		28年度	
順位	%	順位	%	順位	%
5	89.6%	7	87.0%	5	87.4%

3 総合評価

A	政策の目的が十分に達成されている		
【客観指標総合評価】 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。		27年度	A
【市民生活実感調査総合評価】 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。		26年度	B
【総括】 ・市民の実感としては全体としてかなり肯定的に評価され、客観指標についても昨年度と同様高い評価を維持している。 ・こうしたことを総合的に勘案し、政策の目的は、十分に達成されていると評価する。			

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		26	27	28
1701	市民の健康づくり活動の推進	B	B	B
1702	保健医療サービスの充実	B	B	B
1703	食や生活環境の安全・安心の確保	A	C	B
1704	健康危機に対する安全・安心の確保	C	B	B

<今後の方向性>

①市民の健康づくり活動の推進

・市民の健康寿命の更なる延伸を図るため、平成28年5月に幅広い市民団体、関係機関等の参画により発足した「健康長寿のまち・京都市民会議」と連携し、市民が健康づくり活動の達成感を得つつ、習慣化していくための仕組みづくりとして、活動の「見える化」を図る「健康ポイント事業」を実施するなど、市民が主体となる健康づくりの取組を推進していく。

②保健医療サービスの充実

・地方独立行政法人京都市立病院機構では、市民のいのちと健康を守る自治体病院として、以下の役割を果たしていく。
 ・市立病院では、第1期中期目標期間で達成した医療機能の充実を活用し、政策医療を中心に高度な急性期医療を提供する。
 ・京北病院では、市立病院との一体的運営を進めるとともに、訪問診療・訪問看護の展開による在宅医療機能の強化等、引き続き、地域に根差した医療・介護を提供する。

③食や生活環境の安全・安心の確保

・生食肉や食品等の放射能汚染や、社会問題化した冷凍食品の農薬混入事案や廃棄食品の不正流通事案等の事件・事故の発生により、食の安全安心に対する市民の関心は一層高まっているため、食品事業者はもとより、参加型リスクコミュニケーション事業を実施するなど、市民一人一人の食の安全安心に対する意識向上、正しい知識の普及啓発に努め、安心できる食生活の実現を目指す。
 ・また、学校における喫煙防止教育の実施など、教育委員会と連携した取組や、禁煙推進に取り組む民間団体との連携、共汗・融合の観点から総合的な施策の推進による、生活環境の向上を目指す。

④健康危機に対する安全・安心の確保

・腸管出血性大腸菌などの感染症や食中毒等が実際に生じた際には、市内の医療機関等との連携により迅速・的確な予防とまん延防止の取組を進める。また、予防接種の勧奨、手洗い及びうがいの励行等の予防方法についてネット配信、啓発チラシを通して広く市民や関係団体へ周知し、インフルエンザの感染拡大防止に努めていく。

政策名	17	保健衛生・医療										
指標名	男性の健康寿命（歳）											
担当部室	保健衛生推進室		連絡先	2 2 2 - 3 4 1 1								
1 指標の説明												
平均的な京都市民（男性）が、介護を必要とせず、健康で自立した生活を送ることができる期間												
2 指標の意味			3 算出方法・出典等									
京都市民が享受する保健衛生・医療の水準を示す指標			算出方法：「平均寿命」－「日常生活動作が自立していない期間」 ※平成24年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）による健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班）									
4 数値												
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠									
	78.5	80.3	京都市民健康づくりプラン（第2次）									
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値								
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度						
数値	79.0	79.3	0.3歳改善	79.2	平成32年度目標値達成のために当該年度達成すべき数値（各年度0.18歳改善）	100.1%						
	全国順位	中長期目標				備考						
		数値	目標年次	達成度	根拠							
数値		—	34年度	—	健康寿命を平均寿命に近づける（京都市民健康づくりプラン（第2次））							
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果							
最新数値が前年度実績と比較して a：0.2歳以上改善 b：0.1歳以上改善 c：変わらず d：-0.1歳以上悪化 e：-0.2歳以上悪化			当該指標については、市民の健康づくりの取組状況、保健衛生・医療水準等の中長期的な観点から評価する必要があるため、単年度目標値以上をaとし、以下0.1歳刻みで基準を設定した。		<table><tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr><tr><td>a</td><td>a</td><td>a</td></tr></table>		26	27	28	a	a	a
26	27	28										
a	a	a										

指標名	女性の健康寿命（歳）											
担当部室	保健衛生推進室		連絡先	2 2 2 - 3 4 1 1								
1 指標の説明												
平均的な京都市民（女性）が、介護を必要とせず、健康で自立した生活を送ることができる期間												
2 指標の意味			3 算出方法・出典等									
京都市民が享受する保健衛生・医療の水準を示す指標			算出方法：「平均寿命」－「日常生活動作が自立していない期間」 ※平成24年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）による健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班）									
4 数値												
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠									
	82.9	86.7	京都市民健康づくりプラン（第2次）									
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値								
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度						
数値	82.8	83.0	0.2歳改善	84.4	平成32年度目標値達成のために当該年度達成すべき数値（各年度0.38歳改善）	98.3%						
	全国順位	中長期目標				備考						
		数値	目標年次	達成度	根拠							
数値		—	34年度	—	健康寿命を平均寿命に近づける（京都市民健康づくりプラン（第2次））							
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果							
最新数値が前年度実績と比較して a：0.4歳以上改善 b：0.2以上～0.4歳未満 c：0以上～0.2歳未満改善 d：変わらず e：悪化			当該指標については、市民の健康づくりの取組状況、保健衛生・医療水準等の中長期的な観点から評価する必要があるため、単年度目標値以上をaとし、以下0.2歳刻みで基準を設定した。		<table><tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr><tr><td>d</td><td>b</td><td>b</td></tr></table>		26	27	28	d	b	b
26	27	28										
d	b	b										